

さいたま市長メッセージ（令和3年2月3日）

皆さんこんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

本市の新規陽性者数は、2月1日までの1週間で、2,657件の検査を実施し、211名が確認されています。1月9日までの1週間に確認された605名から減少傾向にあり、国の分科会が示す、感染状況を表す指標のステージ3相当まで下がってきています。

市民や事業者の皆様が、不要不急の外出自粛や、午後8時までの営業時間の短縮にご協力いただいた結果であり、深く感謝いたします。

一方で、2月1日時点の市内の療養者数は1,145名で、本市の人口で換算したステージ4の指標、332名を大きく超えております。また、重症者数も過去最高の10名となるなど、医療提供体制のひっ迫は依然として継続しています。

加えて、新規陽性者のうち、60歳以上の方の人数はやや減少しているものの、割合は約3割を占めており、緊急事態宣言発出前後と比べ増加しています。高齢の方は重症化リスクが高いとされており、引き続き、警戒が必要な状況です。

政府は2月2日に、緊急事態宣言の期間を3月7日まで延長することを決定しました。

皆様には、引き続きご負担をお掛けすることになりますが、新規陽性者数の減少を確かなものにするために、気を緩めることなく、不要不急の外出自粛等にご協力をお願いいたします。

ほんし こうれいしゃにゆうしょせつ じゅうぎょうしゃ けんさひ ほじょ しんがた
本市は、高齢者入所施設の従業者へのPCR検査費の補助や新型コロナウイルス
せつしゅ じゅんび すす ひ つづ かんせんかくだいぼうし
イルスワクチン接種の準備を進めるなど、引き続き、感染拡大防止のための
たいさく ぜんりょく と く へいおん にちじょう と もど とも
対策に全力で取り組んでまいりますので、平穏な日常を取り戻すため、共に
がんば
頑張っ
てまいりま
しょう。